

令和 7 年 1 月 1 5 日
第 3 1 期東京都立図書館協議会

令和 5 年度都立図書館自己評価に対する意見

第 3 1 期東京都立図書館協議会は、第 6 回定例会（令和 7 年 1 月 1 5 日開催）において、東京都立図書館が実施した「令和 5 年度東京都立図書館自己評価」に対し、意見を述べた。主な意見は以下のとおりである。

○都立図書館統合検索のインターフェースが使いづらいと感じる。改善を検討してはどうか。他県で導入している、分かりやすくレスポンスの速いシステムを参考にしてほしい。

○評価の時期についてだが、現在 1 月なので、もう少し早めの時期を検討してはどうか。年度途中で評価を行い、次年度の計画に反映している自治体もある。都立図書館も早めの評価を行うことで、より迅速に次年度の予算や計画に反映できるのではないかと。

○令和 4 年度から比較して 5 年度の数値が上向いていることは、皆さんの尽力の賜物と思う。しかし、長期的スパンで見た場合、入館者数やレファレンス件数が減少傾向にある。新しい都道府県立図書館像を打ち出すとともに、都民のニーズをさぐる施策を進めてほしい。

○アウトプットの評価だけでなく、アウトカム、すなわち成果について、質的な評価をさらに検討してほしい。具体的には、課題解決の効果を評価するケーススタディーなど、満足度以外の指標を検討してはどうか。